

課題番号2

基本方針：Ⅲ	課題名：農地マネジメントの推進と地域農業を担う多様な担い手の育成	
対象：認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織、その他多様な担い手	計画期間：H30～R2	
	事務所名：北部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R1年度末）
①意欲ある担い手への農地集積と特定農業振興ゾーンの推進	農地マネジメントチーム活動 重点実施区域への支援 ゾーンに関する意見交換	農地中間管理事業修正機面積 219.9ha → 245.9ha
②集落営農など地域農業を担う多様な担い手の育成支援	集落座談会 研修会の実施 法人経営支援 プランの実質化支援	実質化人・農地プラン数 5地区 → 46地区

総合評価(コメント)
<p>A:3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■活動地域内では、後継者が着実に育っている。 農地マネジメントの推進は非常に重要。3年間の活動を総括して、今後も引き続き積極的な活動に取り組んで頂きたい。 ■多くの時間を必要とする事業なので、今後楽しみです。 <p>B:3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■十分な話し合いも行われており、地域の農業生産確保のためゾーン設定に向けて引き続いて取り組んで欲しい。 ■農業者の高齢化や耕作放棄地の増加は、早期解決困難な案件だが、奈良県の農業を守るために若い世代が参入しやすい環境を作ってもらいたい。 ■個別指導を通して、時間がかかる法人化への支援を期待。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> ■本課題は以下の点に留意し、次年度から3カ年の新規課題とします。 <p>若い世代が参入しやすい環境づくりを期待</p> <ul style="list-style-type: none"> ■当課では、本課題の他に「次世代を担う新たな経営体の確保・育成」を重点課題として新規就農支援に取り組んでいます。次年度の外部評価委員会で報告します。 <p>人・農地プランから特定農業振興ゾーンへの誘導、集落営農組織などの多様な担い手へ発展を期待</p> <ul style="list-style-type: none"> ■管内各地区で人・農地プランの実質化が進んでおり、プランの実行を通じて、「効率的かつ安定的な農業経営体が農地を利用集積・集約化し、持続的な地域農業を実現する」というビジョンの実現を目指します。 ■特定農業振興ゾーンについては支援策の具現化に努めるとともにプラン策定地区から新たな地区設定を検討します。 <p>指標として集積面積や地区数は評価が困難。農地活用の普及方法は難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■具体的な目標として農業生産額や集落営農法人数などの指標を検討します。 ■ビジョン実現のための手段として人・農地プランや特定農業振興ゾーン、農地中間管理事業等の活用に努めます。